

## 自分の場所を自分で作る

氏名：	杞憂 <sup>きゆう</sup>
SNS：	@kiyou77
所属：	Tebiki株式会社
分野：	Web

### またしても自分という人間の弱さを思う

つまり、ポジベを書こうとすると、いつも遅刻しそうになって走る自分の姿を思い出す。恥ずかしながら私は、参加した過去3回全てのWACATEにおいて当日の朝、遅刻をしかけて駅から会場までを走っている。朝が苦手で、それは寝るのが苦手であり起きるのが苦手というのもあるけれど、そのこと以上に、絶対的に朝支度が苦手だ。時間通りに支度し家を出ることに失敗し続けている。

子どものころからそうだ、学校に行くとき「だいたい7時に家を出れば間に合うだろう」という前日の自分の見積もりを、翌日の自分が「7時に準備しはじめれば大丈夫だから、あと15分寝られる」と都合良く解釈し遅れそうになる。それで7時15分くらいに家を出ることになり、走ってなんとか時間通りに間に合ったら、今度は「7時15分に家を出ても間に合うんだな……」と理解してしまう。すると次の日は7時15分に準備し始める。

人と人の間ではこういう齟齬が起きたりするよね、を自分ひとりでやっている。あ、頭が悪すぎる！しかし、私はそういう人間なのだった……。

### 不完全な人間のためにシステムはある

ともかく、けっこう本当にそういうボンコツさを抱えて生きているのだが、じゃあ仕事でも同じかといえそうではなく、こんな私でも仕事は普通にやれている。それは組織やチームに、なんらかのルールやプロセスが存在しているからだ。こういう手順でやろう、こういう決まりにしよう、とみんなで手を動かす環境においては、私もミスが少なくて済む。無いとは決して言えない。が、ミスがあったとて、その原因を考えて仕組みを変えることで、更なるミスを減らすことができる。

きっとみんなこういうのを求めている。自分に限らず、誰もが完全で完璧ではない。自分では自分を律しきれない。それで私たちは徒党を組むのであり、システムを作る。良いシステムは、そこに身を置くことで「うわ～ほんとうにどうしようもね～」と自己嫌悪に陥るような自分から自由にしてくれる。そうしたシステムを作ったり整えたりするQAという仕事のことを、だから僕はわりと好きなのだった。

ただし、よく言われるように、システムは時に私たちの意志を捻じ曲げる。その中にいることで自分らしさを見失ってしまうようなシステムもある。気をつける必要がある。迎合はしない。自分で作る。自ら手をかけ整える。そうして主体的に関わり続ける限り、システムは私を支えてくれる。

### プロセスを学ぶための2日間へ

そんなわけで、こんにちは。杞憂と申します。さいきん転職しました。皆様どうぞ、よろしく申し上げます。今夏のWACATEでは、テストプロセスを通してやってみることから、テストについて考えます。モデルとしてのテストプロセスに沿って進めますが、それは広く知れ渡ったやり方を鵜呑みにするのではなく、そこに主体的に関わり、プロセスを自分のものとするためにこそ行いたい。そんな学びを目指せたらと思っています。